

七夕様 願い事ランキング

今年も七夕様の季節がやってきました。毎年、短冊に書かれた願い事を集計し、ランキングを発表しています。以下が今年の結果報告です。

第1位	自分の健康上の願い	75票
第2位	故郷（家・家族）に帰りたい	24票
第3位	家族・知人の健康上の願い	20票
第4位	楽しく過ごしたい	19票
第5位	おいしい物が食べたい 世界の平和（みんな幸せに）	14票
第7位	コロナの収束を願う	9票
第8位	金銭がらみ（お金持ちになりたい等）	6票
第9位以下	以下は少数意見	

- ・ずっと寝ていたい
- ・彼氏が欲しい
- ・彼氏（彼女）に会いたい
- ・ジャンボ宝くじが当たりますように
- ・織姫様と彦星様が逢えますように
- ・パチンコ（海物語）を打ちたい
- ・毎日そこそこ楽しく生きたい
- ・ここから出たい
- ・ここにいたい
- ・痩せますように
- ・妻と永遠にラブラブでいたい
- ・久々に眺める星の北斗星
- ・おいしいごはん持ってきて！
- ・野球開幕万歳！！

他

総評： 自分の健康、家族や知人の健康を願う気持ちは毎年上位を占めています。その中で今年は、コロナウイルスが世界中で蔓延しているため、少しでも早く収束してほしいとの願いが印象的でした。少数意見として毎年ユニークでウケを狙った願いも見逃せません。

いとうの杜新聞編集部調べ



新型コロナウイルス感染症に関する対応について（6/26現在：警戒レベルは毎週金曜日に更新されます）
 静岡県は「ふじのくに基準」において、「警戒レベル3」であることを受け、当施設では引き続きご利用者様の安全確保、感染症対策により面会は禁止させて頂いております。

面会を心待ちになさっているご利用者様、ご家族様にはたいへん申し訳なく、心苦しい思いではありますが何卒ご理解ご協力のほどお願いいたします。面会の再開に関しましては、慎重に判断し、改めましてご連絡させていただきます。

お取引業者様におかれましても、継続して来設時の検温、マスク着用にて、フロア内への入室は禁止していただくようお願い致します。

医療法人啓仁会 介護老人保健施設いとうの杜 施設長 加藤訓久

施設内勉強会

コロナウイルス感染予防のため、3密になる勉強会はしばらく中止されていましたが、6月末に十分な予防対策の基、勉強会が開催されました。今回は「感染症～食中毒～」と題し、施設のスタッフが講師となり行われました。昨年の食中毒発生状況は、14件（患者数785人）が報告されています。半数以上はノロウイルスによる食中毒であり、一度に多数の患者がでるので注意が必要である。また、私たちの勤務する介護老人施設では、ひとたび食中毒が発生すると、利用者様の命の危機を招きかねないため、十分な予防の知識や対策の知識が必要である。普段からの施設内の環境整備や衛生管理を一人一人が理解し、実践することが大切であると今回の勉強会で学びました。

ラジオ生出演！



6月26日（金）FM伊東なぎさステーションさんのご厚意により、お昼の生放送にラジオ出演させて頂きました。

相談室より、施設サービス部門 大蔵主任と在宅サービス部門 杉本主任が出演し、15分間たっぷり施設の紹介と魅力が発信できました。

6月のレクリエーション と行事予定

- 1階 誕生日会 7/2（木） 7/6（月） 7/11（土） 7/14（火）
かき氷を食べよう！ 7/17（金） 7/18（土）
お楽しみ会 7/30（木）
- 2階 夏祭り2020 7/28（火）
- 3階 ところてんを突いて夏を感じよう！ 7/16（木）
誕生日会 7/22（水）
- 4階 紅白カラオケ大会 7/15（水）
- 5階 かき氷を食べよう！ 7/22（水）
杜カフェ開店 毎週木曜日
- 6階 かき氷&あまびえ（和菓子） 7/20（月）

施設の日々の様子を
発信していきます



移動美容室「クランチケア」さんがいとうの杜に来ます。

7月10日（金）
7月27日（月）

ご希望の方は各フロアスタッフまで！！

皆様と一緒に楽しい紙面づくりをしていきたいと思っております。

ご意見や投稿など募集お待ちしております！

〒414-0002 伊東市湯川 288番地9 ホームページ

「いとうの杜新聞」編集部まで <https://www.itou-mori.jp/>

電話 0557-35-4165 FAX 0557-35-4101



屋上で「にわか農家」

こんにちは！
6階のスタッフ伊藤です。



6階の屋上菜園では、春のチューリップから始まり、今は夏野菜の真っ盛りです。新型コロナウイルスが猛威を奮う中、3密になることを避けつつ、早く収束しないかなと願いながら野菜作りをしています。

外にもあまり出られない事が続いているので、もっと季節を感じてほしくて、野菜の成長を間近で見たり話しかけたりして、肌で実感して頂いています。

毎日の成長を楽しみに車椅子を動かして窓越から見てくれている利用者様の喜ぶ顔、キラッと輝く目が見たいばかりに6階スタッフは水やり、肥料やりに精を出し「にわか農家」を頑張っています。茄子や胡瓜はもうすぐ食べられます。漬け物にしたり、炒め物にしたりしてみんなで食べましょうね。私はすいかが大きく甘くなるのを待っています。



伊藤



ちんあなご



めんだこ



沼津港深海水族館

光の届かない深海ってどうなっているんだろう？そこにはどんな生き物が生活しているんだろう？そんな疑問に答えてくれるのが「沼津港深海水族館」です。行かれた方も多いでしょうが、営業自粛が解かれしばらくした6月13日に行ってきました。梅雨時ではありましたが、薄曇りの日で傘をさすこともなく出かけることができました。

沼津港での人出はかなりありましたが、それぞれマスク着用でソーシャルディスタンスをとっているようでした。市場は依然として自粛中でしたが、まずは腹ごしらえ。新鮮な魚介類の昼食をペット可のお店を探して入りました。お刺身や海鮮丼、天丼等舌鼓を打ちながらいただきました。

そして水族館へGO！ワンちゃんはいれないので、一人犠牲になり沼津港近辺をお散歩。その間私たちは水族館に入りました。久々の孫とのお出かけでした。水クラゲ、高足ガニ、きんめだい、ちんあなご等海の



不思議な生物を見ることができました。展示の水槽がやや高い位置にあるので、孫をずっと抱っこで腕が……。

生きた化石とも言われるシーラカンスの冷凍標本にはビビってました。おみやげにちんあなごのスケール、クリアファイル、エコバッグ、冷蔵庫に貼る磁石等ちんあなご一色でした。ちなみに一番見たかった「めんだこ」はお休みでした。

伊豆の散歩人



駄菓子屋〇〇商店

～おやつバイキング～

古き良き時代昭和・・
なつかしのあの味・・
あなたのお気に入り・・
昔を思い出してみよう

リハビリ室通信

いとうの杜「リハビリ室通信」第2回目。担当をさせていただいております門脇です。機器の活用として〈移動型の階段昇降機〉の紹介になります。

伊東市は地形という環境から、どうしても階段や坂が多くなります。そのため、歩けなくなったり、階段が昇れなくなったりすると、病院や施設から家に帰ることを断念しなければならないこともあります。そこで今回は階段の昇降をする機械のうち、移動可能な機械を利用して自宅へ帰ることができた事例を紹介させていただきます。階段昇降機には大規模な工事が必要なモノレール式や今回ご紹介する小規模な移動型のものなどがあります。

ご自宅はエレベーターのない3階建てのビルでした。ご本人もご家族も大変熱心で、ご自宅へ早く帰ることを希望されていました。リハビリテーション病院で6カ月間、練習を行って来ていましたが、介助をしても階段の上り下りはできていませんでした。病院からの引継書やご家族への説明は、「階段を介助でも上り下りができない」、また「階段昇降機の設置も困難」であると説明がありました。

いとうの杜では、本人・ご家族の望みを叶えることができるよう、歩行・階段昇降機の練習を進めながら、同時にビルの上階へあがるため、介護保険のレンタルで移動型の階段昇降機を紹介させていただきました。また、この機械を使うことができるようL字型の階段の一部に取り外し式の段を一つ設ける改修も提案させていただきました。いとうの杜としても、伊東市としても、この機械の導入は初めてということでした。そして、うれしいことにそれを利用することで、無事ご自宅へ帰り、ご家族と生活しながらデイサービスへ通うことができるようになっていきます。家族との外出もできます。

例：スカラモービル
(アサヒケアサポート)



車椅子タイプ

コンビタイプ



通常は困難な環境であっても、機械を使うことで、自宅へ帰るという望みが叶えられた場面でした。今回のように一見困難な場面であっても、機械を使うことで安全に負担少なく望みを叶えることができる場面もあります。

特に伊東市のような段差の多い環境や費用の面も含め、相談をしてみるのはいかがでしょうか。

リハビリ室 理学療法士 門脇



レクリエーション活動のひとつとして、おやつバイキングを各フロアで行っています。おやつバイキングといっても色々あります。

- ・ ケーキバイキング・・洋風・和風の一口ケーキのバイキング
- ・ 普通のおかしバイキング・・お饅頭・ケーキ・ピザ等スーパーで売っているお菓子のバイキング
- ・ お祭り屋台バイキング・・その名の通りたこ焼き・焼きそば・お好み焼き等
- ・ 駄菓子屋バイキング・・今回のような昔懐かし、10円玉を握りしめ通った近所の駄菓子屋さんっぽいバイキング

皆様のご希望があればお答えします、スタッフにお声かけください。